



パスキーの登録に関するご案内

2026年2月9日(月)から、「きらぼしライフデザイン証券オンラインサービス」では「パスキー認証」を導入いたしました。パスキーをご登録いただき、「パスキー認証」のご利用をお願いいたします。

パスキー認証とは次世代の認証方式で、不正アクセスやフィッシング詐欺に対する耐性が高く、かつ、パスワード入力が不要の便利な認証方式となり、より安全に取引することができます。**なお、セキュリティ強化のため、2026年5月18日(月)より「パスキー認証」を必須化いたします。**



パスキー登録方法 PCサイト編

スマートフォンでの
登録方法はP3へ▼

⚠ 本資料掲載の画像は、お客さまがご覧になる実際の画面と異なる場合があります。

1 きらぼしライフデザイン証券オンラインサービスにログイン後、パスキーの登録を開始します

- 1 「きらぼしライフデザイン証券オンラインサービス」にログイン後、メインメニューの「口座情報①」にカーソルを合わせ「登録情報照会②」をクリックします。

- 2 「パスワード関連」のパスキーの欄にある「登録③」ボタンをクリックします。

2 追加認証を行います(メール認証またはワンタイムパスワード認証)

パスキー登録のため、追加認証(メール認証またはワンタイムパスワード認証)を行います。

メール認証の場合

- 1 ご登録済みのメールアドレスへ認証コードをお送りします。「送信④」をクリックします。

※認証コードが送信されるメールの例です。

- 2 メールに記載の「認証コード⑤」を入力し、「認証⑥」ボタンをクリックします。

ワンタイムパスワード認証の場合

- 1 ワンタイムパスワードアプリ(Google Authenticator)を起動し、「ワンタイムパスワード④」を表示します。



- 2 アプリに表示されている「ワンタイムパスワード④」を入力し、「認証⑤」ボタンをクリックします。

次ページにつづく →

次ページにつづく →

3 パスキーの登録を完了します

1

追加認証完了後、

パスキー登録画面で「登録⑦」ボタンをクリックします。



2

お客様がご利用の端末(PC等)に設定されている認証画面(PINコード認証・顔認証・指紋認証・パスワード認証等)が表示されますので、画面に沿って認証をお願いします。

※下のイメージ画像はPINコード(PCにサインインする際の暗証番号)による認証方法です。「PINコード⑧」を入力します。

(例) PINコード認証



※PINコード認証以外にも、顔認証・指紋認証・パスワード認証等をご利用いただけます。



顔認証



指紋認証



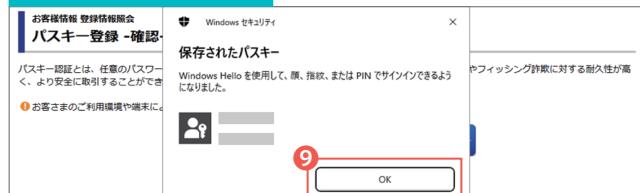
パスワード認証

端末の設定により表示内容が異なります。表示される画面の案内にしたがって操作をしてください。

3

お客様の端末(PC等)に「きらぼしライフデザイン証券オンラインサービス」で利用するパスキーが設定されましたので、「OK⑨」ボタンをクリックします。

(例) PINコード認証



4

＼登録完了／

認証に成功すると、パスキーを利用する端末(PC等)が表示されます。



登録されているメールアドレスへパスキー登録完了通知が配信されますので、併せてご確認ください。

5

次回ログイン時

次回より「パスキーでログイン」からログインしてください。
ログインID・ログインパスワードの入力は不要です。



パスキー登録方法（スマートフォンサイト編）

⚠ 本資料掲載の画像は、お客さまがご覧になる実際の画面と異なる場合があります。

1 きらぼしライフデザイン証券オンラインサービスにログイン後、パスキーの登録を開始します

1

「きらぼしライフデザイン証券オンラインサービス」にログイン後、メインメニューの「口座情報①」をタップし、「お客様情報②」を開き「登録情報照会③」をタップします。



2

「パスワード関連」のパスキーの欄にある「登録④」ボタンをタップします。

お客様情報 登録情報照会 各種サービス関連	
パスワード関連	
ログインパスワード	***** <input type="button" value="変更"/>
取引パスワード	***** <input type="button" value="変更"/> <input type="button" value="再設定"/>
パスキー	未登録 <input style="outline: 2px solid red; border-radius: 5px;" type="button" value="登録"/>
ワンタイムパスワードサービス	未登録 <input type="button" value="申込"/>

2 追加認証を行います（メール認証またはワンタイムパスワード認証）

パスキー登録のため、追加認証（メール認証またはワンタイムパスワード認証）を行います。

メール認証の場合

1

ご登録済みのメールアドレスへ認証コードをお送りします。
「送信⑤」をタップします。

お客様情報 登録情報照会 パスキー登録 -メール認証-	
「認証コード」をお送りします。次画面にて「認証コード」を入力してください。	
メールアドレス	<input type="text" value="abcd*****"/> <input checked="" type="radio"/> a123*****
<input style="outline: 2px solid red; border-radius: 5px;" type="button" value="送信"/>	

※ 認証コードが送信されるメールの例です。

[きらぼしライフデザイン証券オンラインサービス]認証コードのご案内
info@kiraboshi-ls-sec.co.jp
宛先: 123456
認証コード
123456
(半角数字でご入力ください)

2

メールに記載の
「認証コード⑥」を入力し、
「認証⑦」ボタンをタップし
ます。

お客様情報 登録情報照会 パスキー登録 -認証コード入力-	
お送りしたメールに記載されている「認証コード」を入力し、「認証」ボタンを押してください。 認証コードを再送する場合は、「戻る」ボタンを押して、メールアドレスをご確認のうえ、「送信」ボタンを押してください。	
メールアドレス	<input type="text" value="abcd*****"/>
認証コード	<input type="text" value="認証コード"/>
<input type="button" value="戻る"/>	
<input style="outline: 2px solid red; border-radius: 5px;" type="button" value="認証"/>	

次ページにつづく →

ワンタイムパスワード認証の場合

1

ワンタイムパスワードアプリ（Google Authenticator）を起動し、「ワンタイムパスワード⑤」を表示します。



2

アプリに表示されている
「ワンタイムパスワード⑤」
を入力し、「認証⑥」ボタン
をタップします。

お客様情報 登録情報照会 パスキー登録 -ワンタイムパスワード認証-	
スマートフォン等ご利用のアプリに表示されているコードを「ワンタイムパスワード」欄に入力し、「認証」ボタンを押してください。	
ワンタイムパスワード	<input type="text" value="ワンタイムパスワード"/> <input checked="" type="checkbox"/> パスワードを表示する
<input style="outline: 2px solid red; border-radius: 5px;" type="button" value="認証"/>	

次ページにつづく →

3 パスキーの登録を完了します

1

追加認証完了後、
パスキー登録画面で「**登録⑧**」ボタンをタップします。

ご利用のスマートフォン等でお客さまが設定されている認証方式でサインインを行い、パスキーの登録を完了します。

2

お客様が設定されている認証画面が表示されますので、「続ける⑨」ボタンをタップして、表示される画面に沿って認証をお願いします。

※イメージはiPhoneの認証画面です。

3

登録完了

認証に成功すると、パスキーを利用するデバイスが表示されます。



登録されているメールアドレスへパスキー登録完了通知が配信されますので、併せてご確認ください。

4

次回ログイン時

次回より「パスキーでログイン」からログインしてください。
ログインID・ログインパスワードの入力は不要です。

 さくらほしライフデザイン証券

さくらほしライフデザイン証券オンラインサービスユース認証
ログイン

ログインID

ログインパスワード

パスワードを表示する

注意事項

- ご不明な点がございましたら、お取引店舗までお問い合わせください。なお、お客様のご利用端末の機能や操作方法に関しては、携帯電話会社や端末メーカー等にお問い合わせください。
 - パスキーは最大5件まで登録が可能です。
 - **2026年5月18日(月)のパスキー必須化以降、パスキーのご登録のないお客様は、投資信託の売買および入出金の機能がご利用いただけません。**スマーズにお取引いただけるよう、お早目にパスキーをご登録ください。(2026年5月18日以降も、パスキーのご登録は可能です。)

パスキーの認証イメージ

➡ 利用者側で見える処理 ➡ 利用者側で見えない処理

